

# 鹿児島県内における漁船漁業スマート化ロードマップ（R5年度時点）

県事業名：ICTを利用した漁船漁業スマート化推進事業

R4年度 (2022年度)	R5年度 (2023年度)	R6年度 (2024年度)	R7年度 (2025年度)									
<b>現状</b> <b>☆海況予測</b> 東シナ海:DREAMS_EP (7日先) 鹿児島湾:KBモデル (2日先) ※漁業者によるDREAMS 実証では実用性に欠ける との声(予測と実測で水温 差が1~2℃ほど生じるこ ともあった) →開発中のKBモデルを 含め精度向上が必要 <b>☆漁場予測</b> 高精度の予測手法が 未開発 ※R2年度～, 生息環境適 正指数モデルによる漁場予 測を検討したが、予測精度 が課題となった	<b>1. 海況予測モデルの精度向上</b> R4年度比で観測台数を3倍以上に増大し、観測を実施。 観測データを利用して海況予測の精度向上を図るとともに、 観測漁業者等による海況予測の精度実証を行う。 表：整備予定の観測機器総数（ ）内は鹿児島湾向け） <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R4年度</th> <th>R5年度～</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>簡易型CTD</td> <td>8 (1)</td> <td>25 (5)</td> </tr> <tr> <td>潮流計ロガー</td> <td>1 (0)</td> <td>5 (1)</td> </tr> </tbody> </table>			R4年度	R5年度～	簡易型CTD	8 (1)	25 (5)	潮流計ロガー	1 (0)	5 (1)	<b>R7年度までの目標</b> <b>①7日先までの実用的な 海況予測を実現する</b> [実用的 = 燃油費, 及び 操業時間削減に役立つ]
		R4年度	R5年度～									
	簡易型CTD	8 (1)	25 (5)									
	潮流計ロガー	1 (0)	5 (1)									
<b>2. 漁場予測技術の開発</b> 標本船から収集した漁獲データを利用し、 本県漁船漁業における主要魚種であるゴマサバ、 モジャコをターゲットに、機械学習等を活用し た漁場予測技術を開発 <div style="float: right; border: 1px solid black; padding: 5px;">                         漁場予測の                          実証試験                     </div>		<b>②漁場予測手法の確立, 実証試験を実施</b>										
<b>3. 情報発信方法検討</b> 観測漁業者による実証結果を基に、漁業者 が利用しやすい発信方法や求められている 情報を検討する。			<b>4. アプリ等の開発</b> 海況、漁場予測及びその他有用な情報等を 一本化したスマホアプリ等開発に着手。									